

(19)日本国特許庁(JP)

## (12)特許公報(B2)

(11)特許番号

特許第7022447号

(P7022447)

(45)発行日 令和4年2月18日(2022.2.18)

(24)登録日 令和4年2月9日(2022.2.9)

(51)国際特許分類

F I

A 4 4 B	99/00	(2010.01)	A 4 4 B	99/00	6 0 1 Z
A 4 5 C	7/00	(2006.01)	A 4 5 C	7/00	R
A 4 5 C	11/34	(2006.01)	A 4 5 C	11/34	C
A 4 5 C	13/00	(2006.01)	A 4 5 C	11/34	G
B 6 5 D	33/25	(2006.01)	A 4 5 C	13/00	H

請求項の数 11 (全12頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2020-38053(P2020-38053)  
 (22)出願日 令和2年3月5日(2020.3.5)  
 (65)公開番号 特開2021-137352(P2021-137352  
 A)  
 (43)公開日 令和3年9月16日(2021.9.16)  
 審査請求日 令和2年12月24日(2020.12.24)  
 早期審査対象出願

(73)特許権者 591274532  
 株式会社メガハウス  
 東京都台東区駒形二丁目5番4号  
 (74)代理人 100076428  
 弁理士 大塚 康徳  
 (74)代理人 100115071  
 弁理士 大塚 康弘  
 (74)代理人 100112508  
 弁理士 高柳 司郎  
 (74)代理人 100116894  
 弁理士 木村 秀二  
 (74)代理人 100130409  
 弁理士 下山 治  
 (72)発明者 芳賀 智江  
 東京都台東区駒形二丁目5番4号 株式  
 最終頁に続く

(54)【発明の名称】 物品

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

シート状の複数の第1パーツと、シート状の一对の第2パーツとが連結されることにより所定のケースを形成する物品であって、

前記複数の第1パーツは、一方向に相互連結されて前記物品の正面部および背面部を形成し、かつ、前記一对の第2パーツは、該相互連結された複数の第1パーツを部分的に覆うように両側方からそれぞれ連結されて前記物品の一側面部および他側面部を形成し、個々の第1パーツは、

互いに反対側の第1の縁部および第2の縁部と、前記第1の縁部および前記第2の縁部を接続する第3の縁部および第4の縁部とを含んで矩形形状を呈するパーツ本体と、前記パーツ本体の前記第1の縁部および前記第2の縁部にそれぞれ一对の接続部材を介して接続されると共にそれぞれ一端部から他端部に亘って設けられた一对の第1連結部と、前記一对の第1連結部とは異なる連結方式となるように前記パーツ本体上かつ前記第3の縁部および前記第4の縁部にそれぞれ設けられた一对の第2連結部と、を備え、

前記パーツ本体および前記一对の接続部材は前記一对の第1連結部よりも撓み易く構成されており、

前記第1連結部はファスナーであり、

前記複数の第1パーツのうち、

前記一方向で互いに隣り合う2つの第1パーツは、其れらの一方の前記第1の縁部側の前

前記第 1 連結部と、他方の前記第 2 の縁部側の前記第 1 連結部とが噛合することにより相互連結され、

前記一方向における最端の 2 つの第 1 パーツは、其れらの一方の前記第 1 の縁部側の前記第 1 連結部と、他方の前記第 2 の縁部側の前記第 1 連結部とがスライダにより噛合し又は該噛合が解除されることにより前記ケースの開閉を実現可能に構成され、

前記一对の第 2 パーツは、前記一方向で互いに隣り合う 2 つの第 1 パーツを跨ぐように、其れらの前記第 3 の縁部および前記第 4 の縁部に対して前記一对の第 2 連結部によりそれぞれ連結され、該 2 つの第 1 パーツにおける前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部の前記一端部と前記他端部とを覆っており、

前記複数の第 1 パーツのうち、前記一方向における最端の 2 つの第 1 パーツの間にはスライダが取り付けられており、前記一方向で互いに隣り合う 2 つの第 1 パーツの間にはスライダが取り付けられていない

10

物品。

【請求項 2】

前記一对の第 2 連結部は、嵌合により前記第 1 パーツを前記第 2 パーツに対して連結可能に構成されている

請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記一对の第 2 連結部はスナップボタンである

請求項 2 に記載の物品。

20

【請求項 4】

前記パーツ本体は、前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部が前記第 3 の縁部および前記第 4 の縁部よりも長い長方形形状を呈している

請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の物品。

【請求項 5】

前記パーツ本体は、第 1 面と、第 1 面とは反対側の第 2 面とを含み、

前記第 1 面および前記第 2 面には互いに異なる柄が形成されている

請求項 1 から請求項 4 の何れか 1 項に記載の物品。

【請求項 6】

前記複数の第 1 パーツは、前記正面部および前記背面部を接続する底面部を更に形成するように、前記一方向に相互連結されている

30

請求項 1 から請求項 5 の何れか 1 項に記載の物品。

【請求項 7】

前記一对の第 2 パーツが形成する前記一側面部および前記他側面部は、前記複数の第 1 パーツが形成する前記底面部の前記一方向の幅に対応する幅を有する

請求項 6 に記載の物品。

【請求項 8】

前記一对の接続部材は、布材で構成されている

請求項 1 から請求項 7 の何れか 1 項に記載の物品。

【請求項 9】

前記パーツ本体は、透光性材料で構成されている

請求項 1 から請求項 8 の何れか 1 項に記載の物品。

40

【請求項 10】

前記パーツ本体にはポケットが設けられている

請求項 1 から請求項 9 の何れか 1 項に記載の物品。

【請求項 11】

前記物品は、文具用品、生活用品又は服飾用品である

請求項 1 から請求項 10 の何れか 1 項に記載の物品。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

50

## 【 0 0 0 1 】

本発明は、主に、所定の物品の一部を構成可能なパーツに関する。

## 【 背景技術 】

## 【 0 0 0 2 】

特許文献 1 には、複数のシートをファスナーにより連結させて立体ケースを構成することが記載されている。

## 【 先行技術文献 】

## 【 特許文献 】

## 【 0 0 0 3 】

【 文献 】 特開 2 0 0 8 - 1 8 9 5 1 号公報

10

## 【 発明の概要 】

## 【 発明が解決しようとする課題 】

## 【 0 0 0 4 】

上記シートでは、多様な物品の構成が難しく、構造上の改善の余地があった。

## 【 0 0 0 5 】

本発明は、パーツで構成可能な物品の多様化に有利な技術を提供することを目的とする。

## 【 課題を解決するための手段 】

## 【 0 0 0 6 】

本発明の一つの側面は物品に係り、前記物品は、シート状の複数の第 1 パーツと、シート状の一对の第 2 パーツとが連結されることにより所定のケースを形成する物品であって、前記複数の第 1 パーツは、一方向に相互連結されて前記物品の正面部および背面部を形成し、かつ、前記一对の第 2 パーツは、該相互連結された複数の第 1 パーツを部分的に覆うように両側方からそれぞれ連結されて前記物品の一側面部および他側面部を形成し、個々の第 1 パーツは、互いに反対側の第 1 の縁部および第 2 の縁部と、前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部を接続する第 3 の縁部および第 4 の縁部とを含んで矩形形状を呈するパーツ本体と、前記パーツ本体の前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部にそれぞれ一对の接続部材を介して接続されると共にそれぞれ一端部から他端部に亘って設けられた一对の第 1 連結部と、前記一对の第 1 連結部とは異なる連結方式となるように前記パーツ本体上かつ前記第 3 の縁部および前記第 4 の縁部にそれぞれ設けられた一对の第 2 連結部と、を備え、前記パーツ本体および前記一对の接続部材は前記一对の第 1 連結部よりも撓み易く構成されており、前記第 1 連結部はファスナーであり、前記複数の第 1 パーツのうち、前記一方向で互いに隣り合う 2 つの第 1 パーツは、其れらの一方の前記第 1 の縁部側の前記第 1 連結部と、他方の前記第 2 の縁部側の前記第 1 連結部とが噛合することにより相互連結され、前記一方向における最端の 2 つの第 1 パーツは、其れらの一方の前記第 1 の縁部側の前記第 1 連結部と、他方の前記第 2 の縁部側の前記第 1 連結部とがスライダにより噛合し又は該噛合が解除されることにより前記ケースの開閉を実現可能に構成され、前記一对の第 2 パーツは、前記一方向で互いに隣り合う 2 つの第 1 パーツを跨ぐように、其れらの前記第 3 の縁部および前記第 4 の縁部に対して前記一对の第 2 連結部によりそれぞれ連結され、該 2 つの第 1 パーツにおける前記第 1 の縁部および前記第 2 の縁部の前記一端部と前記他端部とを覆っており、前記複数の第 1 パーツのうち、前記一方向における最端の 2 つの第 1 パーツの間にはスライダが取り付けられており、前記一方向で互いに隣り合う 2 つの第 1 パーツの間にはスライダが取り付けられていない。

20

30

40

## 【 発明の効果 】

## 【 0 0 0 7 】

本発明によれば、複数のシートで多様な物品を構成可能となる。

## 【 図面の簡単な説明 】

## 【 0 0 0 8 】

【 図 1 】 実施形態に係る物品の構成の一例を示す模式図。

【 図 2 】 或るパーツの構成の一例を示す模式図。

【 図 3 】 他のパーツの構成の一例を示す模式図。

50

【図 4】或るパーツの構成の他の例を示す模式図。

【図 5】或るパーツの構成の他の例を示す模式図。

【図 6 A】連結補助具による連結態様の一例を示す模式図。

【図 6 B】連結補助具による連結態様の一例を示す模式図。

【図 7 A】生活用品の一例を示す模式図。

【図 7 B】服飾用品の一例を示す模式図。

【発明を実施するための形態】

【0009】

以下、添付図面を参照して実施形態を詳しく説明する。尚、以下の実施形態は特許請求の範囲に係る発明を限定するものでなく、また実施形態で説明されている特徴の組み合わせの全てが発明に必須のものとは限らない。実施形態で説明されている複数の特徴のうち二つ以上の特徴が任意に組み合わせられてもよい。また、同一若しくは同様の構成には同一の参照番号を付し、重複した説明は省略する。

10

【0010】

図 1 は、実施形態に係る物品 1 の構成例を示す。本実施形態では、物品 1 は、複数のパーツ 1 1 ~ 1 4 を備え、それらにより所定のケースを形成するものとする。ユーザは、この物品 1 を、例えばペンケース等の文具用品として利用することができる。

【0011】

パーツ 1 1 は、主に所望の可撓性を有する材料（例えば、ポリ塩化ビニル等の樹脂）で構成されたシート状の部材であり、本実施形態では、物品 1 の正面部または背面部を形成する。また、詳細については後述とするが、パーツ 1 1 は、他のパーツ 1 1 と連結可能に構成され、また、パーツ 1 2 とも連結可能に構成される。

20

【0012】

パーツ 1 2 は、主に所望の可撓性を有する材料（例えば、ポリ塩化ビニル等の樹脂）で構成されたシート状の部材であり、本実施形態では、物品 1 の側面部を形成する。

【0013】

パーツ 1 3 は、パーツ 1 1 を他のパーツ 1 1 に連結させるためのスライダであり、主に所望の剛性を有する材料（例えば、ポリエチレン等の樹脂、アルミニウム等の金属）で構成される。本実施形態では、パーツ 1 3 は、物品 1 を構成するように相互連結された複数のパーツ 1 1 のうちの最端のものに取り付けられ、それにより物品 1 としてのケースの開閉を実現可能とする。本明細書において、パーツ 1 3 は、スライダ 1 3 と表現される。スライダ 1 3 には公知の構造が採用されればよい。

30

【0014】

パーツ 1 4 は、付随的に取付け可能な装飾品であり、本実施形態ではストラップとする。本実施形態では、パーツ 1 4 は、物品 1 の両側面部の一方に対応するパーツ 1 2 に取り付けられるものとする。本明細書において、パーツ 1 4 は、ストラップ 1 4 と表現される。

【0015】

尚、詳細については後述とするが、物品 1 は、複数のパーツ 1 1 ~ 1 4 が相互連結されて構成されるものとするが、それらの一部は部分的に省略されてもよい。尚、相互連結は、2つの要素が、直接的に相互連結されることにより実現されてもよいし、間接的に相互連結されることにより実現されてもよい。

40

【0016】

図 2 は、パーツ 1 1 の構成例を示す模式図である。パーツ 1 1 の本体（パーツ本体 2 0 とする。）は、本実施形態では矩形形状を呈しており、上側縁部（第 1 の縁部）2 1 U および下側縁部（第 2 の縁部）2 1 B、並びに、それらを接続する左側縁部（第 3 の縁部）2 1 L および右側縁部（第 4 の縁部）2 1 R を有する。尚、本実施形態では、パーツ本体 2 0 は、縁部 2 1 U 及び 2 1 B が縁部 2 1 L 及び 2 1 R よりも長い長方形形状を呈するものとするが、それらの長さの大小関係は逆であってもよいし、それらの長さは互いに實質的に等しくてもよい。他の実施形態として、パーツ本体 2 0 は、平行四辺形、台形等、他の形状を呈してもよい。

50

## 【 0 0 1 7 】

パーツ 1 1 は、一方向における両縁部 2 1 U 及び 2 1 B にそれぞれ設けられた一对の連結部（第 1 連結部）2 2 a と、他方向における両縁部 2 1 L 及び 2 1 R にそれぞれ設けられた一对の連結部（第 2 連結部）2 2 b と、を備える。

## 【 0 0 1 8 】

一对の連結部 2 2 a の其々は、他のパーツ 1 1 の一对の連結部 2 2 a の其々と相互連結可能に構成される。本実施形態では、上記相互連結は噛合により実現されるものとし、連結部 2 2 a にはファスナーが用いられるものとする。即ち、一对の連結部 2 2 a の一方は、縁部 2 1 U における一端部から他端部に亘って延設され、他方は、縁部 2 1 B における一端部から他端部に亘って延設される。

10

## 【 0 0 1 9 】

一对の連結部 2 2 b は、詳細については後述とするが、パーツ 1 2 に対して連結可能に構成される。本実施形態では、上記連結は嵌合により実現されるものとし、連結部 2 2 b にはスナップボタンが用いられるものとする。

## 【 0 0 2 0 】

図 3 は、パーツ 1 2 の構成例を示す模式図である。パーツ 1 2 は、パーツ 1 1 の連結部 2 2 b に対応する連結部 2 2 b ' を備える。即ち、連結部 2 2 b 及び連結部 2 2 b ' の一方が他方に嵌合することにより、パーツ 1 1 及び 1 2 間の相互連結が実現される。

## 【 0 0 2 1 】

尚、スナップボタンは、一般に、雄型ボタンおよび雌型ボタンの嵌合により実現される。そのため、雄型ボタンおよび雌型ボタンの一方が連結部 2 2 b として用いられ、他方が連結部 2 2 b ' として用いられればよい。

20

## 【 0 0 2 2 】

本実施形態においては、前述のとおり、連結部 2 2 a は噛合により相互連結を実現し、連結部 2 2 a は嵌合により相互連結を実現する。即ち、連結部 2 2 a 及び 2 2 b は、互いに異なる連結方式となるように構成される。そのため、ユーザは、連結部 2 2 a 及び 2 2 b の何れを用いてパーツ 1 1 を他のパーツ 1 1 又はパーツ 1 2 に連結させればよいかを比較的容易に理解可能であり、物品 1 の組立てを比較的簡便に実現可能となっている。

## 【 0 0 2 3 】

付随的に、パーツ 1 2 には孔 2 3 が設けられうる。この孔 2 3 により、ストラップ 1 4 をパーツ 1 2 に取付け可能となる。本実施形態においては、物品 1 の両側面部の一方に用いられるパーツ 1 2 に、孔 2 3 が設けられるものとする。

30

## 【 0 0 2 4 】

再び図 2 を参照すると、パーツ 1 1 は、両縁部 2 1 U 及び 2 1 B において、パーツ本体 2 0 に対して連結部 2 2 a を接続する一对の接続部材 2 4 を更に備える。接続部材 2 4 は、パーツ本体 2 0 の一部としてもよい。ここで、連結部 2 2 a は、所望の剛性を有する材料（例えば、ポリエチレン等の樹脂、アルミニウム等の金属）で構成されうる。パーツ本体 2 0 は、所望の可撓性を有する材料（例えば、ポリ塩化ビニル等の樹脂）で構成され、よって、一对の連結部 2 2 a よりも撓み易い。また、一对の接続部材 2 4 は、所望の可撓性を有する材料（例えば、布材）で構成され、よって、一对の連結部 2 2 a よりも撓み易い。

40

## 【 0 0 2 5 】

このような構成によれば、パーツ 1 1 は全体的に可撓性を有する構成となり、それにより、物品 1 としてのケースの収容物に応じて該ケースが変形可能となるため、物品 1 の利便性が向上可能となる。尚、連結部 2 2 b は、連結部 2 2 a 同様、所望の剛性を有する材料で構成されうる。

## 【 0 0 2 6 】

パーツ本体 2 0 は、透光性材料で構成されてもよい。これにより、物品 1 としてのケースの収容物を外部から視認可能となり、物品 1 の利便性が更に向上可能となる。他の実施形態として、パーツ本体 2 0 は、非透光性材料で構成されてもよく、接続部材 2 4 同様の材料で構成されてもよいし、或いは、接続部材 2 4 と一体に構成されてもよい。

50

## 【 0 0 2 7 】

図 4 は、パーツ 1 1 の他の構成例を示す模式図である。パーツ本体 2 0 の表面（第 1 面）に形成される柄と、その反対側の裏面（第 2 面）に形成される柄とは、互いに異なっていてもよい。これにより、パーツ 1 1 をリバーシブルとすることも可能である。この場合、連結部 2 2 b は、両縁部 2 1 L 及び 2 1 R のそれぞれにおいて、互いに反対向きの姿勢となるように、2 つ並設されるとよい。即ち、該並設された 2 つの連結部 2 2 b の一方は、物品 1 としてのケースの外側面をパーツ 1 1 の表面が形成する場合に連結部 2 2 b ' との嵌合に用いられ、他方は、該ケースの外側面をパーツ 1 1 の裏面が形成する場合に連結部 2 2 b ' との嵌合に用いられる。

## 【 0 0 2 8 】

尚、上記 2 つの連結部 2 2 b は、図 4 の例では、縁部 2 1 U（又は 2 1 B）の方向に沿って並設されるものとするが、他の例として、縁部 2 1 L（又は 2 1 R）の方向に沿って並設されてもよい。更に他の例として、上記 2 つの連結部 2 2 b は、両面において連結部 2 2 b ' と嵌合可能に一体に構成されてもよい。

## 【 0 0 2 9 】

図 5 は、パーツ 1 1 の更に他の構成例を示す模式図である。パーツ本体 2 0 には、ポケット 5 1 が設けられてもよい。これにより、物品 1 の利便性を向上させることも可能となる。パーツ 1 1 をリバーシブルとする場合（図 4 参照）には、ポケット 5 1 を、物品 1 としてのケースの内側ポケットおよび外側ポケットの何れとすることもできる。

## 【 0 0 3 0 】

以上、本実施形態によれば、パーツ 1 1 は、物品 1 の一部を構成可能であり、その両縁部 2 1 U 及び 2 1 B にそれぞれ設けられた一对の連結部 2 2 a を備える。一对の連結部 2 2 a の其々は、他のパーツ 1 1 の一对の連結部 2 2 a の其々と相互連結可能に構成される。このようなパーツ 1 1 を、2 以上、例えばスライダ 1 3 を用いて相互連結させることにより、例えば物品 1 を構成可能となる。

## 【 0 0 3 1 】

図 6 A は、パーツ 1 1 間の相互連結を比較的簡便に実現可能な態様の一例を示す。前述のとおり、2 つのパーツ 1 1 はスライダ 1 3 を用いて相互連結可能である。しかしながら、該相互連結を比較的容易に実現可能とするため、ユーザは連結補助具 6 1 を利用することも可能である。

## 【 0 0 3 2 】

連結補助具 6 1 は、スライダ 6 1 1 および基台 6 1 2 を備える。スライダ 6 1 1 は、スライダ 1 3 同様の構成を有していればよいが、引手部（取手部、把持部等と称されてもよい。）は設けられなくてもよく、胴体部のみでもよい。基台 6 1 2 は、スライダ 6 1 1 を固定する板材であり、その一端部に設けられた係止部 6 1 2 1 を含む。係止部 6 1 2 1 は、基台 6 1 2 本体に対して折畳み可能に構成されていてもよく、不使用時には折り畳まれてもよい。

## 【 0 0 3 3 】

ユーザは、このような連結補助具 6 1 を用いることにより、2 つのパーツ 1 1 を連結部 2 2 a において相互連結させることができる。即ち、ユーザは、例えばテーブル等の台の上に、該台の端部で係止部 6 1 2 1 が係止するように連結補助具 6 1 を設置し、2 つのパーツ 1 1 を両手で把持してスライダ 6 1 1 に対して摺動させることで、それらを比較的容易に相互連結させることができる。

## 【 0 0 3 4 】

係止部 6 1 2 1 は左右一对設けられるとよく、これにより、上記摺動の際の基台 6 1 2 の位置ずれを防止可能とする。代替的 / 付随的に、基台 6 1 2 底面部には吸着パッド等が設けられてもよい。

## 【 0 0 3 5 】

図 6 B は、スライダ 1 3 そのもののパーツ 1 1 への取付けを実現可能な態様の一例を示す。前述のとおり、スライダ 1 3 は、物品 1 を構成するように相互連結された複数のパーツ

10

20

30

40

50

11のうちの最端のものに取り付けられ、物品1としてのケースの開閉を実現可能とする。しかしながら、該取付けを比較的容易に実現可能とするため、ユーザは連結補助具62を利用することも可能である。

【0036】

連結補助具62は、保持部621および基台622を備える。保持部621は、スライダ13の一端部（本実施形態では、ファスナーの務歯を噛合させる側の端部）を保持可能に構成される。基台622は、保持部621を固定する板材であり、保持部621を固定する基部6221と、保持部621により保持されるスライダ13が嵌合する凹部6222と、を含む。

【0037】

ユーザは、このような連結補助具62を用いることにより、物品1としてのケースの開閉を実現可能とするスライダ13を上記最端のパーツ11に取り付けることができる。即ち、ユーザは、台の上に連結補助具62を設置し、保持部621により保持されるスライダ13に対して、物品1としてのケースの開口を形成する2つのパーツ11を摺動させることで、それらにスライダ13を比較的容易に取り付けることができる。

【0038】

尚、連結補助具62においても、連結補助具61の係止部6121同様の機能を実現可能な要素が設けられてもよい。

【0039】

本実施形態では物品1として文具用品を例示したが、他の実施形態として、上記パーツ11等を用いて、例えば生活用品、服飾用品等、多様な物品が構成可能である。生活用品の例としては、バッグ、ポーチ、小物入れ等が挙げられうる。服飾用品の例としては、帽子、サッシュ、レインコート等が挙げられうる。

【0040】

図7Aは、生活用品の一例として、バッグ71の模式図を示す。バッグ71は、正面部711、背面部712、底面部713、一側面部714、他側面部715、及び、ストラップ716を備える。正面部711、背面部712、底面部713、一側面部714および他側面部715には、それらが相互連結可能となるように、連結部22a、22b及び22b'が設けられればよい。例えば、正面部711、背面部712および底面部713には、連結部22a及び22bが設けられうる（正面部711、背面部712および底面部713は、2以上のパーツ11により構成されうる。）。この場合、一側面部714および他側面部715には、連結部22b'が設けられうる（一側面部714および他側面部715は、対応のパーツ12により構成されうる。）。また、この場合、ストラップ716は、パーツ14として用意されればよい。尚、この場合、パーツ13は用いられない。

【0041】

図7Bは、服飾用品の一例として、帽子72の模式図を示す。帽子72は、トップクラウン721、サイドクラウン722およびブリム723を備える。これらの要素721~723には、それらが相互連結可能となるように、連結部22a、22b及び22b'が設けられればよい。例えば、サイドクラウン722には、連結部22a及び22bが設けられうる（サイドクラウン722は、2以上のパーツ11により構成されうる。）。この場合、トップクラウン721及びブリム723には、連結部22b'が設けられうる（トップクラウン721及びブリム723は、対応のパーツ12により構成されうる。）。尚、この場合、パーツ13及び14は用いられない。

【0042】

また、服飾用品の他の例として、サッシュは、複数のパーツ11が環状に相互連結されることにより構成されうる。この場合、パーツ12~14は用いられない。即ち、多様な物品を構成するのに際して、パーツ12~14の一部/全部は省略可能である。

【0043】

このように、パーツ11~14の其々は、多様な態様で用意可能である。例えば、多様なサイズ及び/又はデザインのパーツ11が用意可能であり、それらに対応する多様なパー

10

20

30

40

50

ツ 1 2 ~ 1 4 が用意可能である。よって、ユーザは、それらパーツ 1 1 ~ 1 4 を選択的に組み合わせて、自分の趣向に合った物品を任意に作成可能である。

【 0 0 4 4 】

発明は上記の実施形態に制限されるものではなく、発明の要旨の範囲内で、種々の変形・変更が可能である。

【 符号の説明 】

【 0 0 4 5 】

1 : 物品、 1 1 : パーツ、 2 2 a : 連結部 ( 第 1 連結部 )、 2 2 b : 連結部 ( 第 2 連結部 )。

10

20

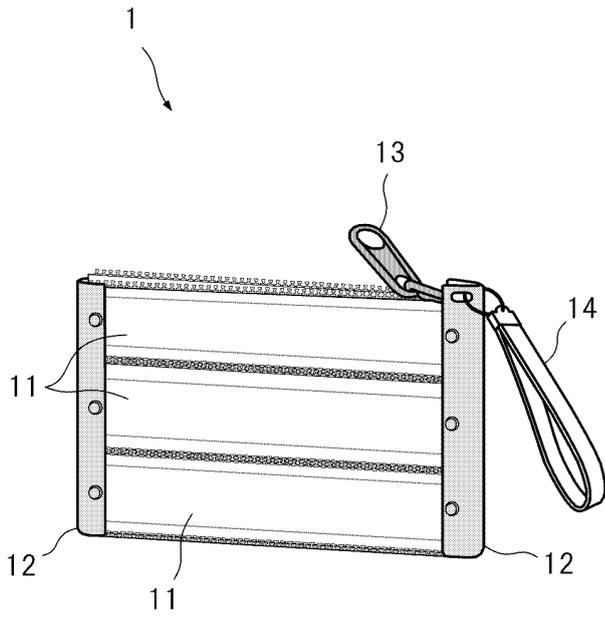
30

40

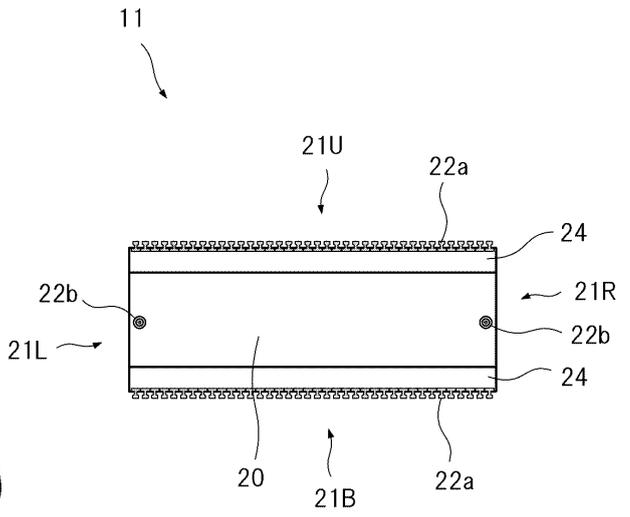
50

【図面】

【図 1】



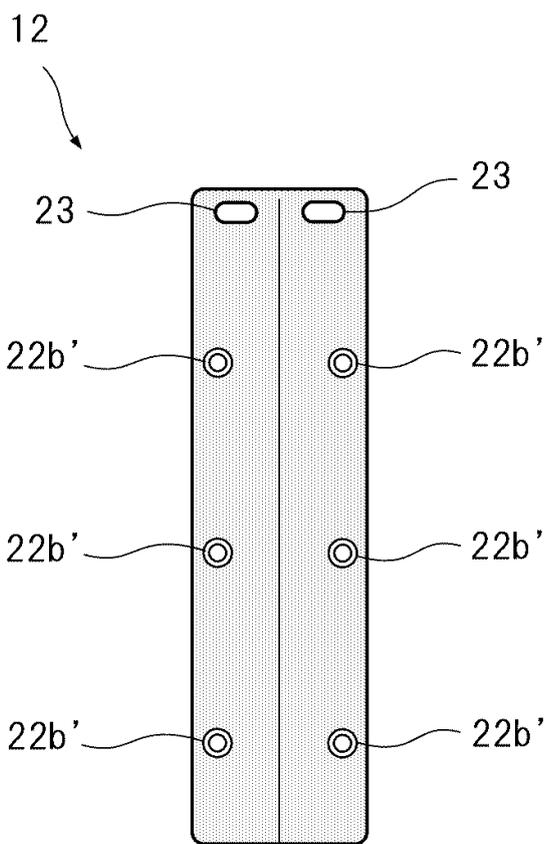
【図 2】



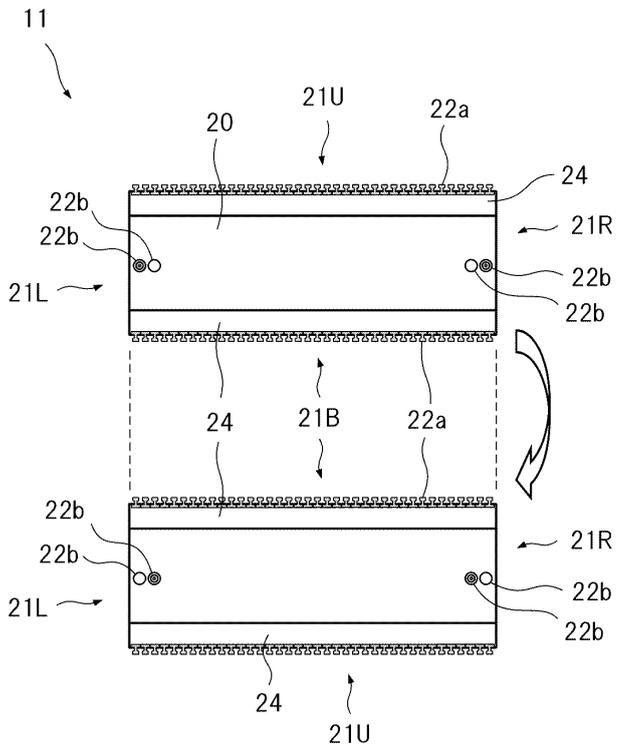
10

20

【図 3】



【図 4】

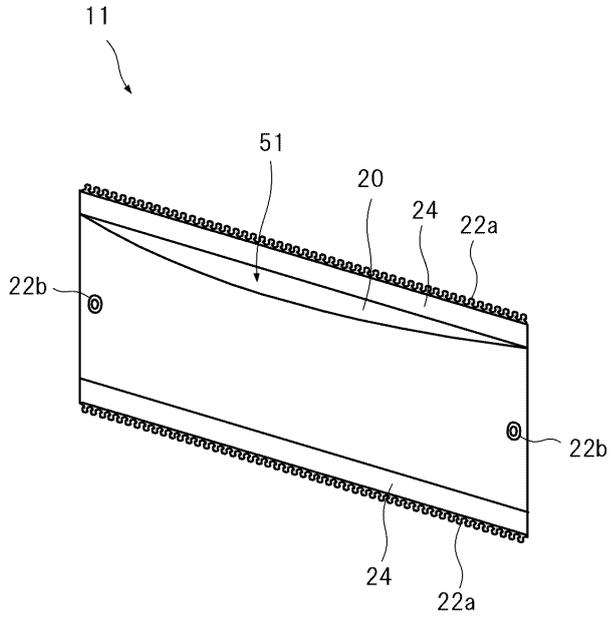


30

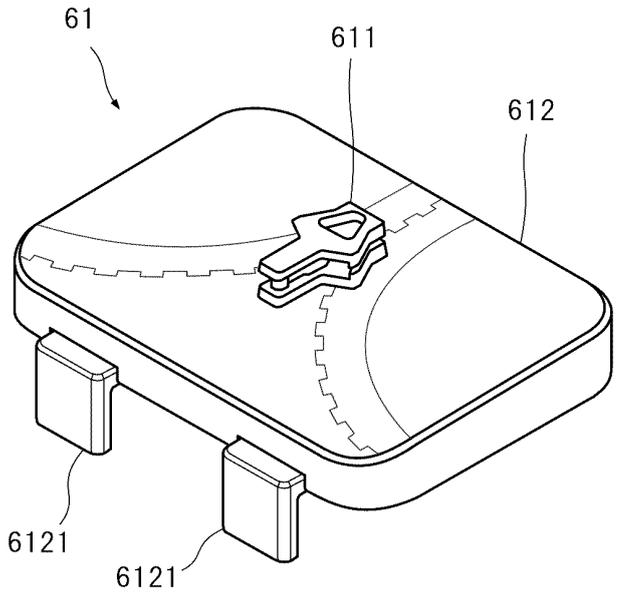
40

50

【 5 】

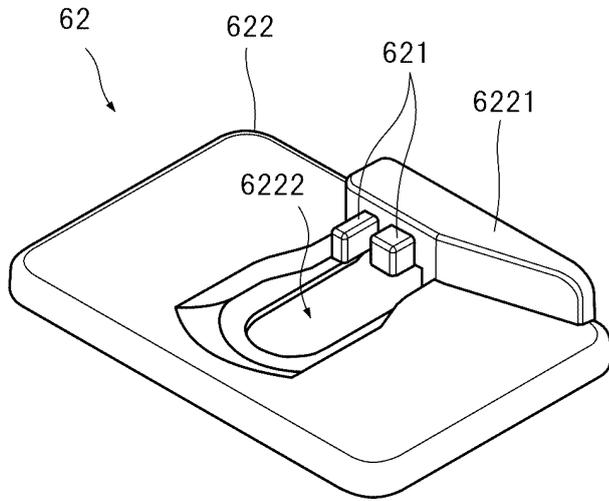


【 6 A 】

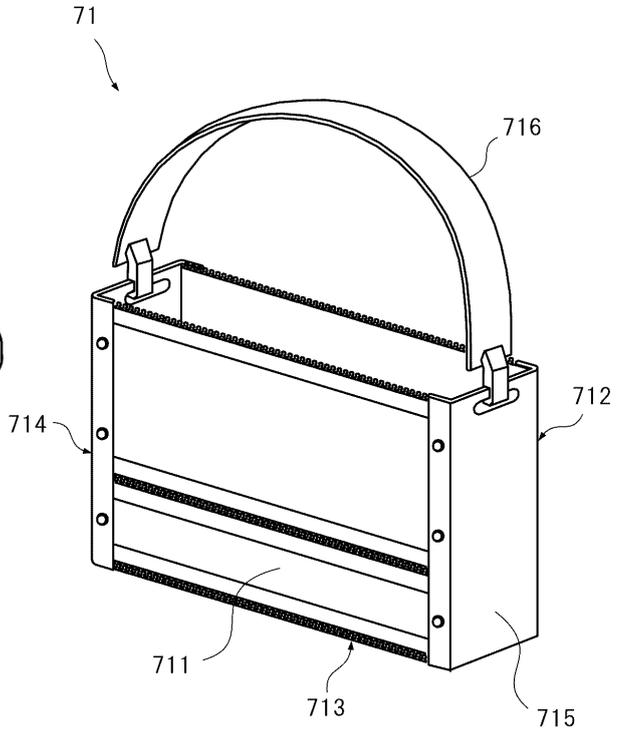


10

【 6 B 】



【 7 A 】



20

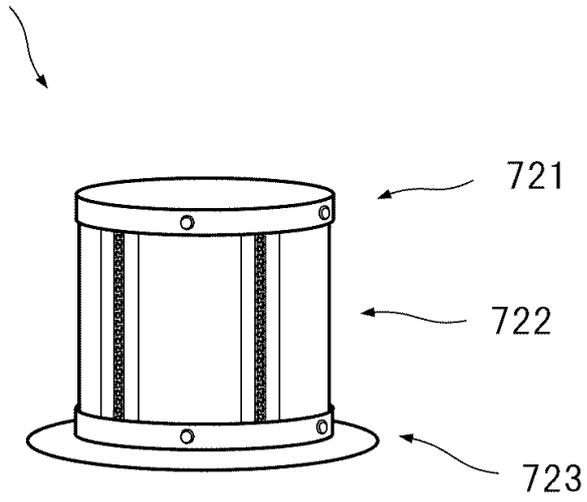
30

40

50

【 7 B】

72



10

20

30

40

50

## フロントページの続き

(51)国際特許分類		F I		
A 4 4 B	1/06 (2006.01)	B 6 5 D	33/25	A
A 4 4 B	19/00 (2006.01)	A 4 4 B	1/06	D
		A 4 4 B	19/00	

## 会社メガハウス内

審査官 新井 浩士

(56)参考文献	特開 2 0 1 5 - 2 1 3 5 4 5 ( J P , A )
	登録実用新案第 3 2 2 3 0 3 5 ( J P , U )
	国際公開第 2 0 1 4 / 2 0 7 8 4 0 ( W O , A 1 )
	特開 2 0 1 1 - 2 3 4 8 8 8 ( J P , A )
	登録実用新案第 3 1 9 5 0 9 3 ( J P , U )
(58)調査した分野 (Int.Cl., D B 名)	
	A 4 5 C 7 / 0 0 - 1 3 / 0 0
	A 4 4 B 1 / 0 6 , 1 9 / 0 0 , 9 9 / 0 0
	B 6 5 D 3 3 / 2 5